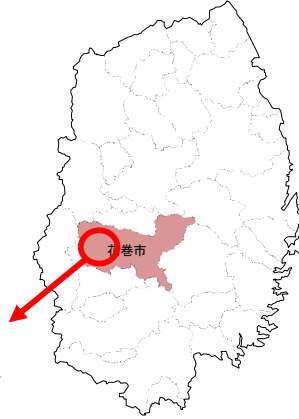


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(28~29年度:計画作成主体:花巻市農業推進協議会)(岩手県)

取組の概要

対象品目 : たまねぎ (産地面積10ha)
 主な取組主体 : 農事組合法人リアル 農業者9名
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 基準 (H27年度) 80千円/10a
 目標 (H30年度) 174千円/10a
 導入施設等 : 生産支援事業(機械リース) たまねぎ移植機など 計7台



岩手県
花巻市
太田地区

ポイント

【産地の課題及び取組方向】

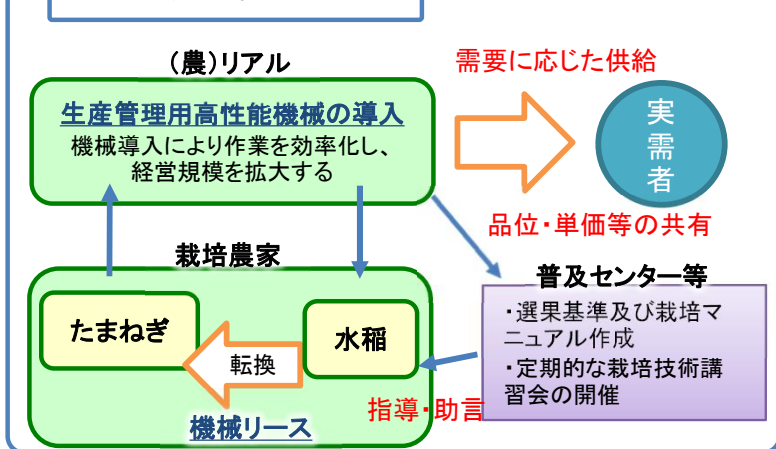
稲作から収益の高い作物への転換に意欲的な担い手が「たまねぎ」の栽培に取り組むとともに、高性能機械等の導入により作付面積を大幅に増加させ大規模経営を推進することにより、販売額の増加を目指す。



【産地の体質強化に向けた方策】

担い手が「たまねぎ」の作付けに転換するために必要な機械等のリース導入支援

産地体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・JA、県、市が一体となり、生産基盤の拡大とともに生産組織の園芸導入支援のため、業務用加工野菜の取扱いや年間雇用が可能な組織の育成を推進。
- ・市単事業で、水田転作による畑地化、苗、肥料代を助成

取組成果

【事業実施による直接効果】

リース支援による初期投資の節減効果

【事業実施による間接効果】

- ① 水稻からたまねぎへの転換を図り、生産量を拡大
- ② 単位面積当たりの販売額の増加により、取組主体の所得向上と、たまねぎ産地の形成を実現



**販売額が63%
減少**
(達成率 -54.3%)

目標値
174千円/10a

80千円/10a

29千円/10a

H27
(基準年)

R3
(実績年)

実績値 (販売額)